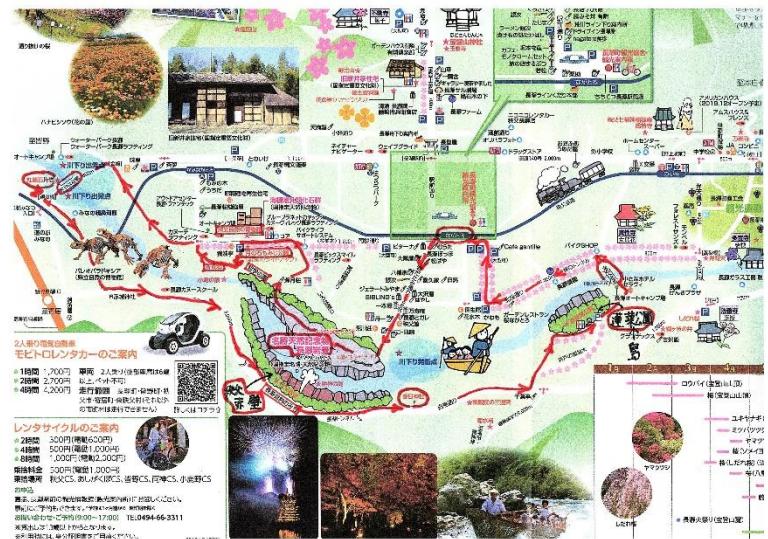


## 「国の天然記念物 長瀬渓谷ハイキング」と「もみじの観察会」

11月22日、8時30分に長瀬駅スタッフ集合で久保リーダー、スタッフ4名と池田会長も参加頂きアルコール消毒と健康チェックを実施し参加者を待つ。9時集合で三密を避けながら参加者の消毒、健康チェック、事前アンケートを実施。小学生は6名、同行者4名、インストラクター6名の総勢16名で開会式を行う。

まずは、池田会長が開会の挨拶、久保リーダーからスタッフの役割紹介、コースの説明、参加者の自己紹介。自家製の木の鉛筆も子供達にプレゼントし、トイレを済ませた後再度消毒を行い、体操をしてから久保リーダーを先頭に出発だ。



お土産屋さんが並ぶ小道を下りてしばらく行くと、パートと視界が広がったところに岩畳が現れた。どうやらここがライン下りの船着き場らしい。岩畳を歩く。最初のポイントはクヌギの木が生えている『どんぐりころころのP』だ。(Pはプログラム)



久保リーダーから長瀬渓谷の起源や今日のポイントの説明をして頂く。子供達にどんぐりを拾ってもらい、太田さんからどんぐりころころのお話をしてもらい、ポットホールで記念撮影。途中対岸の明神の滝、夫婦滝、赤壁を見学。



二番目のプログラムは、自然の博物館周辺で『松ぼっくりのP』ペットボトルに入った入り口よりも大きい松ぼっくりがどうやって中に入ったか？子供達に考えてもらう。答えは水に浸すと傘が閉じ小さくなり、乾燥すると傘が開き入り口よりも大きくなる。松ぼっくりの入ったペットボトルは後で石投げで優勝した子供の賞品とした。



三番目のプログラム、『もみじの観察会』は子供達にもみじの落ち葉を拾ってもらい台紙にラミネートし標本にしてもらう。もみじの種類はインストラクターが同定し名前を裏に書いてもらう。これはいい思い出になるはず。コロナで自然博物館の中には人数制限で入れなかったので絶滅哺乳動物パレオパラドキシアの像の前で記念撮影。

月のもみじ公園で紅葉を愛でながら昼食。食べる前にアルコール消毒実施。歩いたからみんなお腹がすいたようだ。参加者に体調を再確認するが、子供達は皆さん元気だ。お腹いっぱいになったところで、宮沢賢治の歌碑「つくづくと 粋なもやうの博多帶 荒川ぎしの片岩のいろ」を見て虎岩を見学。シマシマ模様だから虎岩らしい。子供達に飛び石投げ競争をしてもらう。ここで伊藤様親子達は離団。ご夫婦の結婚記念日のお祝いだそうだ。

ちなみに今日は11月22日でいい夫婦の日。

親鼻橋手前で紅れん石片岩ポットホールを見学。ここでも、どんぐりを拾う。

ここからしばらく歩くので退屈しないようにみんなで歌をうたいながら歩く。マスクをしながらだ。

どんぐりころころどんぶりこ～♪ 秋の夕日に照山もみじ～♪ 垣根の垣根の曲がり角～♪ 丘をこえいこうよ 口笛ふきつ～つ♪

途中で辰尾さんが見つけてみんなで採取したヤブランの実の皮をむき、コンクリートで跳ねるかどうか実験をした。スーパーボールのように跳ねるのにビックリ。

長瀬自然のみちを経て、春日神社手前のあずまやでおやつ休息。ここでもアルコール消毒実施。水分補給。

蓬莱島公園駐車場でWC休憩。アルコール消毒実施。

金石水管橋の上から蓬莱島公園の紅葉と荒川の絶景を展望。キャンプ場も見える。

長瀬駅に戻ってくる。歩行時間約2時間30分、歩行距離約8km、標高差約20m。

長瀬駅で閉会式。池田会長、久保リーダーから挨拶。参加者にアンケートを書いてもらいお迎えの親御さんに子供達を渡して14時50分に解散。

今回もお天気に恵まれ、子供達も楽しく有意義な一日だったと思う。

めざせ！子供森林インストラクター。



(文責:西田宗史)